



学校運営協議会だより

立川市立第一小学校

コミュニティ・スクール (家庭・地域とともに歩む教育活動の推進)

令和2年度 第3号 (2021・1・20発行)

立川市立第一小学校の現代建築としての評価

第一小学校の現代建築としての評価となる指針の一つに「BCS 賞」がある。「BCS (Building Contractors Society) 賞」は、年1回、日本国内の優秀な建築に与えられる賞である。その趣旨は、①選考対象:種類・規模にかかわらず国内において建築された建築物で供用開始後1年以上を経過した建物が応募できる。②選考基準:建築の事業企画、計画・設計、施工、環境および建築物の運用・維持管理などに関する総合評価を旨とする。③表彰対象:建築主・設計者・施工者の3者を表彰する。

第一小学校は、この「BCS 賞」の第59回を受章している(2018年)。選評は、こう語る。

この施設は次世代を担う子どもたちが使う小学校・学童保育所を軸に、地域の人々がレクリエーションの場・生涯学習の場として使う学習館・図書館から成り立っている。これらの施設は共用することができる機能を持ち、さらに複合化することで高機能化する内容もある。前者としては、地域開放を前提とした配置のランチルームや家庭科室などの小学校特別教室群があり、(中略)小学校の教室空間は2・3階に配置され、2つの中庭を中心としてH型の構造壁と可動の間仕切り壁が組み合わされている。この空間は目的に応じてフレキシブルに大きさを変えられ、日々の使い勝手に柔軟に対応するとともに、変化の大きいこれからの社会の動きにも充分追従可能であろうと思われた。

——改めて思う。現代建築として高い評価を得て、未だに教育関係者や建築関係者の見学が絶えない第一小学校。こんな素晴らしい学校に通っている子どもたち、胸を張って頑張れ！ (伊藤真人委員)

第3回学校運営協議会(12月10日開催)では、本校の現施設について伊藤委員より設計者シーラカンズ & アソシエイツの会社概要や受賞の説明がありました。また、その後児童へのメッセージも含めた上記の文章を寄せて下さいました。

完 成 時 各 施 設 の 思 い

○柴崎図書館

「必要に応じて間仕切り扉を開け、児童が読書活動や調べ学習のため図書館を利用できるようにします。

学校図書室との相互利用という新しい取組みを通じて、地域の方々と児童とが交流できる図書館として、本を通じた世代を超えた出会いの場の提供を目指してまいります。」

○柴崎学習館

「夏休みを含めた学校行事がない時に、小学生や中学生を対象にした企画をこれまで以上に計画していきますので、ぜひ参加してください。」

○柴崎学童保育所

「複合施設になり、学校とより連携することで、子どもたちの状況の把握や適切な対応を行い、保育を充実させていきます。」

(いずれも一部抜粋 一小PTA広報「しばさき175号(平成26年度2学期)」から引用しました)

第3回学校運営協議会の「学校施設に関すること」の資料において、第59回 BCS 賞受賞作品としての複合施設が紹介された記事に目が留まった。その記述内容と私が2年間勤務した中で感じた現状について述べる。

1 記事「小学校のメインアプローチに隣接した図書館は学校図書館と地域図書館が一体化し、子どもたちは豊富な図書に触れることができる。」

⇒昨年度、150周年事業の一つとして多くの学年図書を PTA より寄贈していただいた。更に今年度の PTA 卒業対策委員会からは、より多くの本を蔵書できるようにと図書室の本棚寄贈の話をいただいている。保護者の思いにより辛うじて子どもたちの読書環境が少しずつ整備されていることは、大変に心強い。しかし、現状としては、本校の学校図書館は大変狭く、豊富な図書に触れさせることはできていない。

柴崎図書館との扉を開け一体化したいが、安全管理面での課題が多い。不審者対策、感染症対策、そのための教員や職員の複数配置や時間割調整等。これらの課題解決に向けた取組でもアイデアを期待したい。

2 記事「小学校の中庭は野外読書室としても利用されるなど、複合化のメリットが活かされている。」

⇒中庭の野外読書室。これは大変有効活用されている。図書の授業中に屋外で各自が自由に本を読んでいる光景をこれまでの教員生活で目にしたことはない。暖かな日差しのもと、子どもたちが中庭で気ままな姿勢で穏やかに読書にふけっている光景は、日々の業務に忙殺されている私にとってもひとときの癒しとなる。学校全体にやさしい空気をもたらしていると言っても過言ではない。感染症対策としても大変に有効である。他校にはない本校の施設のすばらしさの一つである。

3 記事「教室は、構造壁と可動の間仕切り壁が組み合わせられており、日々の使い勝手に柔軟に対応するとともに、変化の大きいこれからの社会の動きにも追従することができる。」

⇒教室の向き等を変えることができるのは、大きなメリットである。実際担任は、様々な理由により柔軟に教室を変化させている。日差しの向き、暖房や冷房の効き具合、周りの教室からの音の制御等々。そして、今年度最も重要とされた換気。記事にある「変化の大きいこれからの社会の動きに追従」という言葉が、まさか感染症の拡大を含んでいたとは考えにくいだが、それでもこの構造のおかげで、本校は他校と比べて十分な換気を行うことができ、どこよりも早く学校公開を実施することもできた。間違いなくこの構造の恩恵である。

最も根本的な本施設の理念の一つは「地域社会の核となる施設」である。第一小学校学校運営協議会の発展そのものが、この理念に向けた大きな一歩になりうると信じている。

学習館と学校の連携、地域との融合により、お互いに壁を作るのではなく、壁のない学校づくりをしていきたい。また、この建築施設を有効に利用していくべく利点を生かしたものにしていけたらと思います。(編集子)

第3回学校運営協議会では「学校予算」についても話題にしました

学 校 予 算

○教育予算額（歳出） 平成31（令和元）年度 比較

立川市（小学校数19校）			港区（小学校数18校）			
教育費 11,394,678	教育総務費		966,408	7,013,063	教育総務費	
	小学校費 4,485,460	学校管理費	1,126,344	2,308,840	学校管理費	小学校費 5,140,763
		教育振興費	340,790	93,007	教育振興費	
		学校給食費	112,202	726,661	学校給食費	
		学校保健費		125,938	学校保健費	
		学校建設整備費	2,906,144	1,886,317	学校建設整備費	
中学校費		1,770,107	2,084,883	中学校費		
					教育費 18,793,706	

（単位：千円）

（出典：「立川市の教育 令和2年度版」

港区の資料は、当該自治体のホームページによる

注：港区の資料が平成31年度のものであったので、立川市もそれに合わせ平成31年度のものにしました）

○第一小学校 令和2年度 学校配当予算額（除く事務補助員報酬）

学校管理費	2,211,160
教育振興費	4,504,277
学校給食費	-
学校保健費	797,632
合計	7,513,069

（円）

ほぼ同じ小学校数の港区と比べて、随分と差があるとわかりました。
この数字から見ても、立川市の小学校教育にはやはりコミュニティ・スクールとして、学校、保護者、地域と共同で関わっていく事がより必要だと思います。
どんな事でも、ご協力いただける事がありましたらお知らせください。

注：特別支援学級設置校配当予算は除く

（出典：「令和2年度 教育予算説明会資料 立川市教育委員会」

○上記のほかに **地域学校協働本部事業費** が配当されています

これは、子どもたちの教育環境や学校の教育活動の充実に向けて、地域と学校が協働していく営みを支援するための経費です。今年度は、およそ30万円いただきました。詳細につきましては、機会をみて紹介します。

また、今後は、学校運営協議会と地域学校協働本部が連携して、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、活動を推進していくシステムを構築したいと考えています。皆様のお力添えをお願いいたします。（校長）

「学校公開」に関連した意見交換をしました

○参観された委員から

- ・五年生の社会科の授業を拝見したが、これからの日本について真剣に討論をしていたことに感心した。

○保護者から寄せられた主な意見の紹介がありました

- ・感染症対策等で大変な中、実施してくださりありがとうございました。
- ・入学してすぐに休校、再開してまもなく夏季休業となり、学校生活がきちんとできているか心配だったので、授業風景を見て安心した。(1年生保護者)
- ・子どもたちが楽しんで学べるような惹きつけられる授業がされていると感じた。(2年生保護者)
- ・考える力が身に付くような授業の進め方をされていた。大人になっても大切なことを意識できる取組をしていただきありがたい。(3年生保護者)
- ・解答を間違えても恥ずかしい雰囲気がなく、どんどん手が挙がっていた。(4年生保護者)
- ・差別や偏見につながる言動に対して、教員はしっかりと注意をしていた。(5年生保護者)
- ・よく聞き、たくさん発言し、積極的に話し合う、いいなと感じました。(6年生保護者)
- ・算数の授業の進め方を教えて欲しい。家庭でも取り入れて子どもと取り組みたい。(あおぞら学級保護者)

第4回学校運営協議会の開催について

日時：2月18日(木) 午後3時から 場所：本校 会議室

主な内容：学校評価について 学校運営の改善について 次年度学校経営計画について



傍聴を希望される方は前日までに副校長もしくは副校長補佐までご連絡ください。

コラム

No.3

コロナ禍の学校生活

昨年2月頃から新型コロナウイルスが流行する中、150周年記念行事等も中止となってから約一年。いまだ終息の様子はなく、不安に毎日過ごしている方も多いのではないのでしょうか。国立育成医療研究センターが9月から10月に行ったアンケート調査で「学校に行きたくない」と思った事のある小中高生が3割に上るという結果でセンターは感染への不安や学校行事の中止などが影響したとみている。という記事がありました。

の今回の協議会で、学校施設への評価等の意見交換がありましたが、学校建築も歴史も誇れる第一小学校、児童が誇らしく楽しく学校生活を送れるために、もっといろんな方の意見、知識をもって第一小学校を応援し、地域の方と一体となって盛り上げていきたい。また、すべての児童に寄り添える方法はないだろうかと模索しながら、このコロナ禍の中でも出来る精一杯の事をしていきたいと思います。一小児童が未来を明るく見られるよう。

(作成：米川・撰梅両委員 編集協力：君塚)

ご意見、ご感想、ご質問等がありましたらお寄せください。また、投稿をお待ちしています。

第一小学校 副校長 小林 錠 / 副校長補佐 撰梅 正人